

公 告

令和3年公告第8号

2020年度決算組合会について

大阪読売健康保険組合の決算組合会が7月20日、読売新聞大阪本社で開かれ、2020年度決算、事業報告案など下記の3議案が承認されました。新型コロナウイルス感染症の影響で、保険給付費や保健事業費が減ったことや、年度によっては10億円を超える国への高齢者医療拠出金が比較的抑えられたため、経常収支は2億631万円の黒字となりました。経常黒字は3年連続、2億円超になりました。

経常収入は22億8607万円（前年度比1.1%増）、経常支出は20億7976万円（4.6%増）。2019年度からの繰越金を含めた全体収入は25億2999万円（8.7%増）、全体支出は21億1612万円（4.5%増）で、全体収支は4億1387万円の黒字となりました。このうち、1242万円を別途積立金（貯金）に繰り入れ、残りは21年度予算に繰り越しました。

別途積立金は14億964万円に増え、準備金は前年度末の3億1054万円を維持しました。

介護勘定では、介護保険に使われる介護納付金が7158万円（25.7%）引き上げられ、3億4972万円となりました。このため、保険料率を0.33ポイント上げて1.7%に改定、介護保険収入は3億5050万円、繰越金などを含めた収入総額は3億6900万円。国に納付金を支払った残金1927万円のうち、348万円を準備金に積み立て、1580万円を21年度予算に繰り越しました。

令和3年7月21日

大阪読売健康保険組合
理事長 足達 新

記

【議 案】

- ◆第1号議案 2020年度決算、事業報告案
- ◆第2号議案 2020年度収入支出決算残金処分の件
- ◆第3号議案 2020年度財産運用と財産目録確認の件

【報 告】

- ◆報告1 組合会議員選挙結果
- ◆報告2 財政の推移について

*決算組合会の詳細は、当健保情報誌「すこやか健保だより」2021年夏号に掲載します。

以上